

患者さまへ

行徳総合病院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）およびバイオ後続品（バイオシミラー）の採用を積極的に行い、使用を推進しています。

また、バイオ後続品の使用推進のために患者様へ、バイオ後続品のご説明を積極的に行っています。

後発医薬品およびバイオ後続品の採用につきましては、先発医薬品との効果の同等性、品質の同等性、安定な供給がなされるかなど総合的に判断して採用を決定しておりますが、現在でも一部の医薬品で供給が不安定な状況が続いています。

当院では、一般名処方推進することにより、保険薬局において、銘柄によらず供給・在庫の状況に応じ調剤できることで、患者さまへ適切に医薬品を提供することに貢献できると考えています。

院内で使用する医薬品においても、引き続き在庫の確保には努めてまいりますが、供給状況により一時的に他の規格や銘柄、先発医薬品への変更、同成分の医薬品の安定的な在庫の確保が難しい時には、同じような効果を有する他の医薬品へ変更する場合があります。

入院されている患者さまに処方する医薬品に変更が必要な際には、職員がご説明に伺います。

皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力の程お願い致します。

行徳総合病院 院長

「一般名処方」とは？

処方箋には調剤される医薬品が記載されていますが、後発医薬品がある医薬品については商品名ではなく、一般名（有効成分の名称）で記載して処方することを「一般名処方」といいます。厚生労働省が示している記載方法に準じて【般】＋「一般名」＋「剤形」＋「含量」で記載されます。

バイオ後続品（バイオシミラー）とは？

遺伝子組換え技術などにより細胞、酵母、細菌などから産生されるタンパク質由来の医薬品である「バイオ医薬品」の特許が切れた後に、他の製薬企業から発売される先行品と同等の品質・安全性・有効性を有する医薬品です。

「一般名処方」のメリット

「一般名処方」で記載された処方箋では、保険薬局で有効成分が同一である医薬品が複数あれば、先発医薬品でもジェネリック医薬品でも、薬剤師と相談して選ぶことができます。ジェネリック医薬品は先発医薬品よりも価格を安くすることができるため、患者さんの負担軽減や、国の医療費の節減につながります。



後発医薬品およびバイオ後続品について
一般名処方について
医薬品の供給不足に伴う採用医薬品の変更について